



# つなぐ 神戸市会議員団ニュース

2021年 第4号 9月2日

神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会 29階

TEL078-322-5849 FAX.078-322-6167

e-mail:nsp-kobe@portnet.ne.jp

## INDEX

第2回定例市会9月議会始まる	…1
2020年度決算、10年ぶりの財源対策(104億円) で何とか実質収支黒字を確保	…1
来年度以降も投資的経費増続き、 コロナ影響での収税減で厳しい将来見通	…2
議員団の第3回街頭市政報告会を開きました	…3
第2回定例市会日程	…4
決算特別委員会局別審査日程	…5

## 第2回定例市会9月議会始まる

### 代表質疑は7日に、あわはら富夫議員

主に2020年度神戸市会計決算を審議する第2回定例市会9月議会が、8月31日から10月8日の会期で始まりまし。神戸市長選挙が10月10日から始まる関係で、例年より2週間早く開会しました。久元市長への各会派の本会議代表質疑は9月7日(火)に、あわはら富夫議員が行います。また9月8日(水)からは、決算特別委員会の局別審査が3つの分科会に分かれて行われます。

決算特別委員会は今回は、小林るみ子

議員(新社会党)とあわはら富夫議員(新社会党)が第1分科会、浦上忠文議員(無所属)と香川真二議員(神戸志民党)が第2分科会、高橋ひでのり議員(無所属)が第3分科会を担当します。

本会議や局別審査の日程は日程表の通りです。決算特別委員会での、つなぐ議員団の質疑時間は25分と短いですが、ぜひ傍聴にお越しください。決算特別委員会での質疑の時間は日によって変わりますので、傍聴される場合は、議員団事務局にお問い合わせください。

2020年度  
決算

**コロナ禍による収税減に加え、新型コロナ対策や湾岸道路などの投資的経費が増加。10年ぶりの財源対策(104億円)で何とか実質収支黒字を確保**

2020年度一般会計決算は、コロナ禍による企業業績の悪化などによる収税減に加え、新型コロナ対策や湾岸道路などの投資的経費が増加した結果、10年ぶりの財源対策(104億円)

(2)

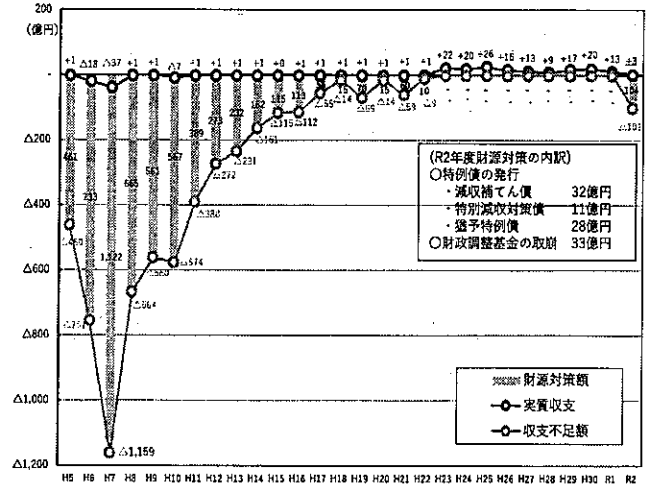
で何とか実質収支黒字3億円を確保した決算になりました(右図参照)。財源対策としては、特例債の発行や市の貯金にあたる財政調整基金の取り崩しで行い、結果財政調整基金は令和2年度末残高は83億円までに減少しました。

歳入の特徴では、一般会計では、コロナ禍で企業業績の悪化などで市税が減少(-1.2%)した一方で、コロナ対策での特別定額給付金や地方創生臨時交付金などの国庫支出金が増加(+116.7%)し、対前年度比1,970億円の増(+24.2%)になりました。

一方で歳出は、扶助費や人件費などの義務的経費は減少しましたが、湾岸道路西伸部事業進捗など投資的経費が増加(+11.6%)、さらにコロナ対策の物件費が大幅に増加し(+151.5%)、対前年度比1,930億円の増(+24.0%)になりました。

また借金にあたる市債については、臨時財政対策債が減少した一方、湾岸道路西伸部事業進捗など建設地方債が増加したことなどから合計1,061億円と大きく増加しました(+17.6%)。そのため、臨時財政対策債を含めた一般会計の市債残高は1兆1,859億円で、市民一人あたり74,9万円となっています。

(参考) 実質収支と財源対策額・収支不足額の推移



一方、実質公債費比率(地方自治体における一般財源の規模に対する公債費の割合)は2013年度の10.1%から4.3%へ減少、将来負担比率(将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来、財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標)も2013年度の94.6%から61.6%へと減少し、一般会計についてはある程度改善が進んでいると言えます。

しかしながら、国民健康保険事業などの特別会計や、新都市整備事業などの企業会計の市債残高を合わせると、市債残高は1兆9,946億円(市民一人あたり131万1千円)となり、前年の一人あたり128万1千円から増加し、依然として高水準です。

## 来年度以降も投資的経費増続き、コロナ影響での収支減で厳しい将来見通

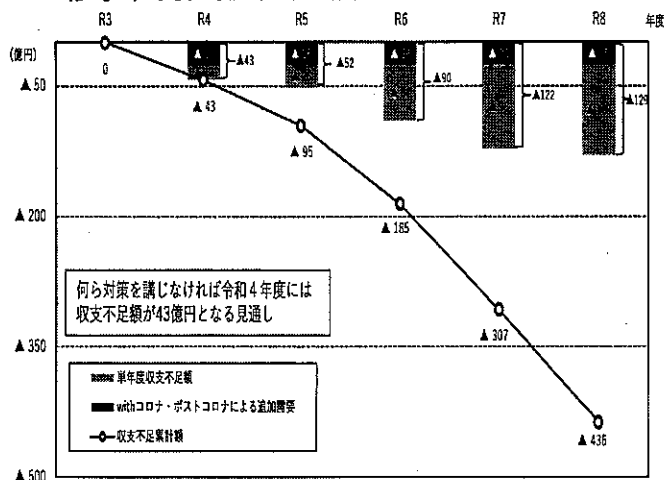
### もう一度、三宮再整備の見直しと検証を

新型コロナの影響は、今回審議される2020年度決算への影響はもちろん、2021年度も収支減(予算値で-7.9%)など大きく影響を受けることとなります。さらに貯金にあたる財政調整基金も、2021年度もコロナ対策で取り崩しており、コロナ禍前の2018年度は129億円あったものが、現在は72億円までに減っています。神戸市が今年度予算編成で公表した中期

財政収支見通しでは、何ら対策を講じなければ、従来の収支不足額に加え、withコロナ・ポストコロナによる追加需要で、令和8年度には収支不足累計額が436億円になる見通しです。(右図)

神戸市は昨年6月に三宮再整備の全体事業費を公表し、2050年頃完成までの全体事業費

(参考1) 今後の収支不足額の推移について (令和3年2月公表)



を7,440億円かかるとし、そのうち市負担総額は1,570億円としています。特に懸念されることは、今後6～7年間で中央区役所の移転、2、3号館の立て替えなどの公共施設再配置だけで1,130億円もの市負担が必要になることです。また、同じこの時期に大阪湾岸道路西伸部の負担400億円も加わり、今後6～7年間で1,500億円を超える資金が必要になり、投資的経費がさらに増加することは必

至です。今後これらの投資的経費は2025年までに集中することになり、その多くが建設地方債で賄われることから、毎年の公債費を押し上げ、義務的経費比率を高めることとなります。

これについて、昨年6月の議会で、あわはら富夫議員の「三宮再整備を見直すべき」という質問に対し、久元市長は「湾岸道路、三宮再整備は大部分は地方債で起こすが、償還がそれぞれの年において耐えられるかどうか検証していく」と答弁しました。その後、市は今年4月に、2号館新庁舎の音楽ホールの設置を中止するという計画見直しを発表、これにより今後30年間で85億円を削減し、浮いた財源を緊急のコロナ対策や財政健全化に回すことを発表しています。収束が見えない新型コロナ禍という新たな状況や要素が加わった現状を踏まえ、もう一度、財政見直しや計画全体を含めて、三宮再整備を検証、見直すときではないでしょうか。

## 第3回街頭市政報告会を開きました



新型コロナウイルス感染症が続いていますが、コロナ禍を考慮し、昨年11月と今年4月に引き続き、3回目の議員団街頭市政報告会を7月25日(日)17時からJR六甲道駅北で開催しました。

当日は猛暑でしたが、夕方からは幾分暑さも和らぎ、約30名の方にご参加いただき、1時間にわたって各議員からのアピールや参加者からの質問が行われました。なお、次回の街頭報告会は10月31日(日)午後、JR住吉駅南を予定しています。





## 決算特別委員会審査日程(案)

月 日	曜	摘 要	
9. 6	月	本会議	
7	火	本会議終了後(議場) 本会議 決算特別委員会-正副委員長の互選, 理事の選出, 委員会の運営方法の協議, 分科会の審査日程の協議	
8	水	10:00 第1分科会 (会計室, 市長室・行財政局, 選挙管理委員会・人事委員会・監査委員) 10:00 第2分科会 (危機管理室・消防局)	第4委員会室 第2委員会室
9	木	10:00 第1分科会 (企画調整局) 10:00 第3分科会 (港湾局)	第4委員会室 第2委員会室
10	金	10:00 第2分科会 (健康局) 10:00 第3分科会 (こども家庭局)	第4委員会室 第2委員会室
11	土		
12	日		
13	月	10:00 第1分科会 (都市局) 10:00 第2分科会 (環境局)	第2委員会室 第4委員会室
14	火	10:00 第1分科会 (建築住宅局) 10:00 第3分科会 (経済観光局)	第2委員会室 第4委員会室
15	水	10:00 第2分科会 (水道局) 10:00 第3分科会 (文化スポーツ局)	第2委員会室 第4委員会室
16	木	10:00 第1分科会 (交通局) 10:00 第2分科会 (福祉局)	第4委員会室 第2委員会室
17	金	10:00 第2分科会 (建設局) 10:00 第3分科会 (教育委員会)	第2委員会室 第4委員会室
18	土		
19	日		
20	月		
21	火		
22	水		
23	木		
24	金	10:00 委員会 総括質疑	議場
25	土		
26	日		
27	月		
28	火	11:00 委員会 意見表明 14:00 委員会 意見決定	議場



制服の  
異なる姉妹  
風光る 忠文

神戸市会議員

ただ ふみ

# うらがみ忠文新聞

2021年  
春夏の号

## 「私」ではなく、「私たち」で生きよう!

「お医者さんは、病気を診てくれたけど、看護師さんは、ぼくを診てくれた。」  
これは、ある中学生の「詩」です。  
皆さんの感想は、いかがですか。  
痛い、寝汗をかいた、お腹が空いた、という訴えに「痛いん」「汗びっしょりやねえ」「お腹が空いたん。良かった。元気になつてきたんやね」と、優しい言葉を返して下さる看護師さんの笑顔は、人生の宝物です。  
もちろん、冷静で熱意あるお医者さんも、ありがたい存在です。  
ですが、「いいお母さんやねえ」「フーイことはない」生活のすべてに関心を持って下さる看護師さんには頭が下がります。  
コロナ禍の今、検査や病床も大切ですが、区役所や市役所は「まち」の優しい看護師さんであって欲しいと思われませんか。  
私たちも生活に気を付けて、お互い様精神を発揮し、自分中心の「私」ではなく、「私たち」という心で歩み合いたいものです。

### うらがみ忠文

- ・1969年 慶應義塾大学法学部政治学科卒
- ・元 大丸神戸店「くじゃく通信」編集長
- ・元 神戸市立御影北小学校 PTA会長
- ・NPO 障がい者就労支援作業所 副理事長
- ・1995年 神戸市会議員初当選
- ・2019年 神戸市会議員7選



JR住吉駅山側・シーア玄関前。みなと銀行住吉支店東隣り。お気軽に!

●「うらがみ忠文ネットワーク」談話室

〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町1-7-3 矢野ビル3F

TEL/FAX 078-841-1042 Eメール tadafumi@uragami.jp

うらがみ忠文 検索

●〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市会「つなぐ」議員団 浦上忠文発行 TEL 078-322-5849



## 【議会報告】 私の、本会議一般質問の要旨。

### ■浦上忠文の質問

コロナ禍の今、「貧乏脱却」が、今日のテーマです。

1997年をピークに国民所得は伸び悩み、格差が広がる中、誰もが安心して人間らしい生活をする事が出来る社会を提案したいと思う。あらゆる人々が将来の不安から解放され、子育て、教育、介護など誰もが必要とする「ベーシックサービス」を、多くの人々が享受出来る社会を目指すべきではないか。

そのためには財源が必要だが租税負担率と社会保険負担率を合わせた国民負担率を整理して、OECD ヨーロッパ先進諸国の平均ぐらいまでに調整することは、十分出来ることではないでしょうか。

市長の見解を求めます。

### ★久元市長の答弁

国民負担率については、国会で議論して頂きたい。

格差も広がっていることから、受益と負担のあり方の議論を行いながら、市政運営にあたっていきたい。

浦上議員からは、従来から「お互い様」ということを指摘いただいているが、基本的には、私も同じ思いだ。

市民が、どういうふうになれば助け合って生きることが出来るのか、市政の政策を改善していきたい。

### ■浦上忠文の再質問

負担率は国のことだと言われるが、私の周りには、貧困や障害で働けない方がたくさんおられます。そういう人たちに、介護や医療が必要になったときに生活の最低のベースを用意して差し上げると言うことは、国や神戸やと言ってる場合ではないのでしょうか。

### ★久元市長の答弁

基礎的なサービス水準は国の制度で決まっており、基礎自治体の役割は、本当に 社会に背を向けながら助けを待っている人も含めて、一人一人に寄り添った行政サービスをどう展開するのかに知恵を出して行くことだ。

浦上議員の提案にしっかり対応していかなければいけない、と言う問題意識は共有させて頂く。

同時に、競争と相互扶助のバランスをどうとって行くのかも、いろいろな意見伺いながら市政運営にあたっていきたい。

弱者を助ける、から  
弱者を生まない社会を  
神戸から創ろう！ 浦上忠文





ネクスト  
神戸経済を  
支えるのは?!



令和3年

7月25日(日)17時~18時 JR六甲道駅前にて



## 街頭市政報告会を実施しました

「議員は自らの活動を市民に分かりやすく説明すること」

これは、神戸市議会基本条例に記載された、議員の役割および活動原則の一文です。  
つなぐ神戸市会議員団では、コロナ禍の中でも街頭で市政報告会を実施しています。

猛暑の7月25日(日)に六甲道で第3回の街頭市政報告会を行いました。つなぐ会派は多士済済で、それぞれの専門性を最大限に生かすことを大切にしています。今回も5人の議員それぞれにテーマをもって報告をしました。私からは、香川しんじが考えるネクスト神戸経済を支える産業ベスト3を発表しました。

第1位 医療・健康産業 第2位 スポーツ産業(eスポーツも含む) 第3位 (やっぱり)ファッション産業

詳しくは、YouTubeをご覧ください。次回は、東灘区の住吉駅前で行う予定です。



猛暑の中  
お集まりいただき  
ありがとうございます!  
ございます!

詳しくは つなぐ神戸市会議員団の  
ホームページをご覧ください。

つなぐ神戸

当日の様子はこちら! →  
YouTube



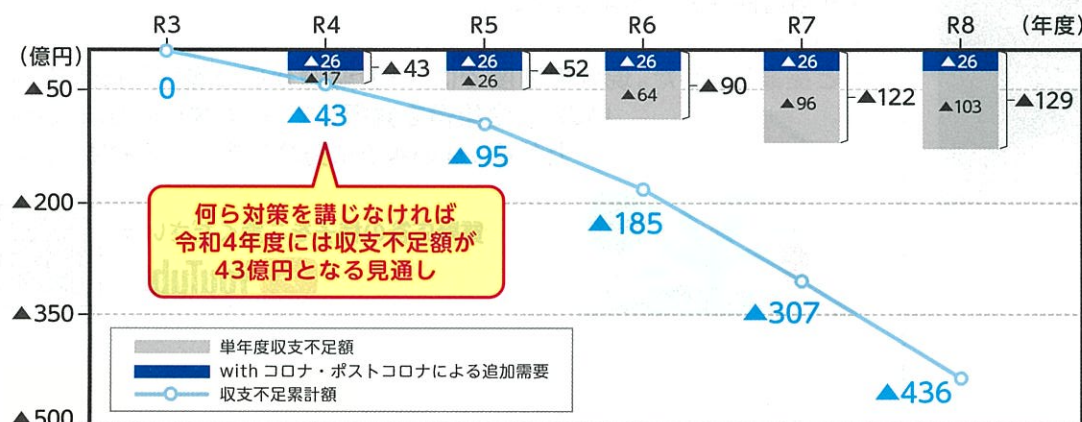
令和2年度

## 決算について



神戸市の令和2年度一般会計決算は、実質収支3億円の黒字でした。しかし、特例債(借金)の発行や財政調整基金(貯金)の取り崩し(合計104億円)を行ってなんとか黒字を確保しました。つまり、**何もしなければ101億円の赤字だった**ということです。今後も、社会保障費の増額、市役所の建て替え、さらには先行き不透明なコロナ対策など、支出が増加することは明らかです。**つなぐ会派では、「庁舎の建て替えよりも市民生活を優先すべき」と主張**してきました。市は今年4月に市役所2号館の音楽ホールの設置を中止し、浮いた財源を**コロナ対策や財政健全化に回すことを発表**しました。コロナ対策に柔軟に対応していただいたことには感謝いたします。

【今後の収支不足額の推移について】(令和3年2月公表)



発達の  
遅れがある

## こどもの進路に悩んでいる お母さん、お父さんに朗報です

令和3年6月30日の文科省から出された障害のある児童生徒の就学先決定についての通知で、「**就学後も学びの場を柔軟に見直していく**」が可能になりました。これまでは、通常学級、支援学級、特別支援学校の転籍や転校が自由にできない謎のルールがあったので、進路決定にとっても悩みました。今回の通知で、こどもにとって最適な場で学ぶことができるようになりました。



## 陳情!

## 神戸市会議員に対する費用弁償の廃止について

「費用弁償」という言葉をご存じでしょうか? 端的に説明すると、議会に出席した時に支払われるお車代です。かつて議員が無報酬だった時代や交通機関が未熟だった時代の名残です。**神戸市では1回あたり3,000~5,000円が支給**されます。市役所まで徒歩5分でも3,000円、費用弁償の年間総額は1,530万円(2018年度)です。私は議員になった時から時代にそぐわないと、**廃止もしくは、せめて実費相当額の交通費にすることを主張して、受け取りを拒否**してきました。この度、費用弁償廃止に反対していた会派との意見がまとまり、2021年11月1日より、**実費交通費相当額へと見直されること**になりました。廃止までとはいきませんが、一歩前進です。

【過去の陳情に対する各会派の採否】

■神戸市会議員に対する費用弁償廃止に関する陳情

決定年月日	自民	公明	日本維新	共産	立憲	つなぐ	結果
令和2年12月1日	×	×	○	○	×	○	不採択

■神戸市会議員に対する費用弁償の廃止を求める陳情

決定年月日	自民	公明	日本維新	共産	立憲	つなぐ	結果
令和3年3月22日	□	□	○	○	□	○	審査打切

○...採択 ×...不採択 □...審査打切



令和2年度  
決算特別委員会

局別審査



局別審査(水道局)にて質疑をする香川

令和2年度の決算について

各局に集中審査が行われました

香川の担当局は、危機管理室・消防局、健康局、環境局、水道局、福祉局、建設局です。

以下にその主な質疑応答の内容をご報告いたします。

建設局

■西神中央駅周辺の渋滞対策について

今後、西神中央駅周辺には、西区役所の移転、芸術文化ホールやマンション建設などで交流人口の増加が予測されますので**渋滞対策について質問**しました。自動車利用者が多いということもあり、まずは**立体駐車場を再整備**することを行います。さらに、車でなくて公共交通機関で利用を促進するために歩いて目的地まで行けるように**駅と芸術文化ホールを結ぶ歩道橋の架け替え、エスカレーターやエレベーターの整備**を行います。バスロータリーをコンパクト化することによって、**一般車、タクシーロータリーについて、一部拡張**を考えていますとの答弁でした。



▲市営地下鉄 西神中央駅前

■垂水病院の隣接道路について

西区の垂水病院の東側にある隣接道路は、未舗装の状態です。雨の日には足元が悪くなります。さらに、街灯が一つもなく夜間は真っ暗になります。**垂水病院に通われている方の不便な状況を解消していただきたいと要望**しました。

垂水病院の東側の隣接道路は神戸市が管理している市道ですが、一部地権者と境界の合意を得ることができない区間が約25メートル残っており舗装することができていません。引き続き地権者との交渉を進めて、**舗装化の実現に向けて努めていきます**。さらに、照明が少ないということで、**防犯灯の設置**を考えております。今年の9月に、土地所有者と電柱管理者に同意がとれたということで、できれば年内ぐらいには街灯が増設できるように取り組んでいきますとの回答でした。



▲垂水病院(西区) 東側 隣接道路

福祉局

■障害者の就労支援事業について

コロナ禍でイベントが中止になってクッキーや小物を作って販売していた障害者就労支援事業所の売上げが下がっています。障害者優先調達推進法で、神戸市も物品を購入していただいておりますが、**市役所の業務を切り分けして、就労支援事業所に提供していただくことはできないのか質問**しました。工賃向上のアップにつきましては、引き続き検討していきたいと思っておりますとの答弁でした。



重度障害等就労支援特別事業という新たな制度ができ注目をしています。これまで、経済活動には福祉サービスが使えないという前提があったのですが、大きな進歩です。神戸市では、この事業の対象者に実施状況や利用ニーズの調査をして、**令和3年度内には導入**していきたいとの答弁でした。

環境局

■山林への太陽光発電施設の設置について

地球温暖化対策の推進にあたっては、再生可能エネルギーの普及が不可欠です。しかし、大量の木を伐採し、山の斜面に設置された太陽光発電施設を見る度にこれで良いのかと感じています。神戸市環境局では、大規模な森林伐採により貴重な自然を失ってまで、やみくもに再生可能エネルギーの導入拡大を求めものではないとしっかり明言しています。太陽光発電施設が設置されている地域が、電気代が安くなったり、雇用が増えたりなどのメリットがあるわけではありません。**地域に住んでいる方の安全・安心を確保しながら事業を進めるように要望**しました。



▲山の斜面に設置された太陽光発電施設

水道局

■老朽化した水道管を更新するための財源について

水道局の事業会計は、市民の皆さまから頂く水道料金で経営されています。今後、人口減少により給水収益が減少する中、さらに老朽化した水道管の更新投資が増大することが最大の課題です。経営が苦しくなることを予測して、水道局では管理センターや職員を減らすことで対応はしていますが、それでも資金繰りが苦しくなると、水道料金の値上げをする可能性があります。そこで、**水道料金を値上げしないために、一般財源(税金)を使って一般道路と同じように水道管の更新をしてはどうかと提案**しました。現状の制度では、一般財源からの繰り入れはできないので、**企業債を発行して、なるべく水道料金が値上がりしないように努めます**との答弁でした。



質疑応答の様子をご覧ください→



危機管理室・消防局

■防犯カメラによる犯罪減少効果について

神戸市では昨年**から通学路や主要な駅周辺に防犯カメラの設置を進めています**ので、その効果について質問しました。兵庫県警と連携して、過去の犯罪発生実態や防犯理論に基づいて場所を決めています。その効果として、**女性や子どもに対する犯罪の減少や事件の早期解決**に結びついています。令和3年4月から8月末まで、兵庫県警からは196件の画像提供依頼を受け、防犯カメラ映像を基に犯人を検挙し、事件解決につながった例もありました。**伊丹市や加古川市では、防犯カメラにより刑法犯認知件数が設置後に30%以上減少**していますとの答弁でした。



質疑応答の様子をご覧ください→







# つなぐ 神戸市会議員団ニュース

2021年 第5号 10月18日  
神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会29階  
TEL.078-322-5849 FAX.078-322-6167  
e-mail:nsp-kobe@portnet.ne.jp

## INDEX

第2回定例市会9月議会終わる	…1
高橋ひでのり議員・議案質疑要旨	…1
あわはら富夫議員・代表質疑要旨	…3
決算特別委員会各局審査・質疑項目	…6
小林るみ子議員・決算特別委員会総括質疑要旨	…8
浦上忠文議員・一般質問要旨	…9

## 第2回定例市会9月議会終わる

### 三宮再整備と財政問題、新型コロナ対策などで議論

8月31日から10月8日まで開かれていた、主に2020年度神戸市会計決算を審議する第2回定例市会9月議会が終わりました。

決算に対する本会議代表質疑は、9月7日にあわはら富夫議員が、①今後の財政見直しと事業見直しについて ②市長の政策決定過程の明確化について ③新長田南再開発事業の市民検証報告書への対応について

④神戸交通振興(株)の解散と雇用問題について ⑤ユニバーサルツーリズムの推進について質疑しました。

また、代表質疑に先立ち、8月31日には、高橋ひでのり議員が議案質問に立ち、「新型

コロナウイルス感染症対策における医療提供体制の強化」について質疑しました。それぞれ、別途、要旨を掲載しています。

また、決算特別委員会では連日各局審査が行われました。各局審査における各議員の質疑項目は別途掲載しています。9月24日には、小林るみ子議員が、①区役所民間委託問題について ②コロナ後遺症の対応について ③分限休職処分の取消裁決について総括質疑を行いました。そして、最終日の10月8日には浦上忠文議員が、「久元市長の政治姿勢」について一般質問を行いました(別途掲載)。

### 高橋ひでのり議員・議案質疑要旨(8月31日)

#### ～新型コロナ対策における医療提供体制の強化について～

4～5月の第4波においては、神戸においても自宅療養者や宿泊療養施設入所者が、容態が急変して死亡するという悲劇がおきた。それを繰り返さないというのが、市民の願いでもあり、市長のミッションでもあると思うが、今回の補正予算においてそれを実現する重点と市長の決意を伺う。

第2点は、宿泊療養施設の追加確保について。宿泊療養施設は、フロア全部が空か

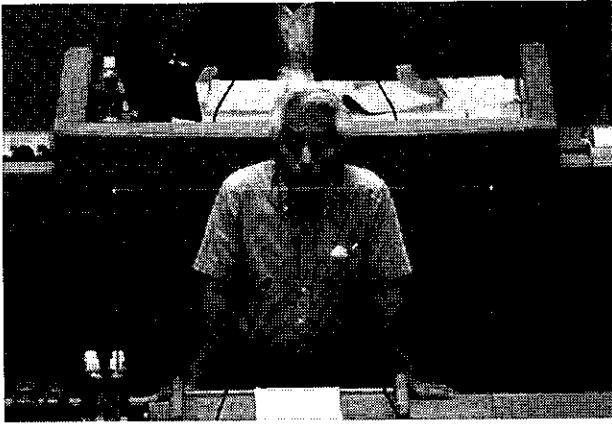
ないと消毒作業ができないという物理的な問題もあり100%の利用はない。実際の入所可能人数は何割くらいなのか、また今後どれくらいの宿泊療養施設が必要と考えているか。

(久元市長)

基本的認識は高橋議員と同じであり、その任務に全力で取り組んでいきたい。



(2)



(小原副市長)

当初は宿泊療養施設入所者が退所されて数日後に清掃消毒を行い最大6割の稼働率だったが、業者との協議で各部屋ごとの清掃消毒になり、最大8割程度入所可能になっている。

(高橋議員再質疑)

尼崎市の長尾和宏医師が「現在の医療提供体制は、自宅療養者の症状が悪化するのを待って医師につないでおり、在宅放置だ」と言っている。また「この事態を変えるには、感染症法上の扱いを、2類を5類に変えて保健所の介在をなくし、感染者がすぐに治療につながる体制を作るべきだ。初期治療に使える薬はいろいろあり、在宅でも酸素治療はできる」と主張されているがどう考えるか。

(小原副市長)

神戸市でも補正予算でお願いしているように、自宅療養者には重症化防止の観点からフォローアップチームを中心に対応している。

(高橋議員再質疑)

2類を5類に変えることは、保健所という感染対策の司令塔をなくすことであり、現状では反対だ。自宅療養者への医療提供体制の強化として、保健師の毎日の電話など体制を組まれていると思うが、保健師はどのような基準で外来受診や往診を判断するのか。

また今、神戸市では自宅療養の方が1039人、入院調整中の方955人が不安を抱えながら自宅で暮らしている。しかし、保健所が送迎しているのが一日平均15人、往診は半分以下なので、全体の1%しか医者にかかれていない。もっと医者が直接見守る体制を

作れないのか。

(小原副市長)

無症状や軽い症状の方は自宅療養で対応しているが、症状が進行しつつある方は早期に外来受診につなげており、外出が難しい方は往診で早期対応をしている。引き続き医師会等の協力を得ながら適切な医療が自宅療養者に提供できるよう工夫研究していく。

(高橋議員再質疑)

現在は陽性が判明しても、医師が診断して肺炎などを疑わないとCTやレントゲン検査を行っていないと聞いている。濃厚接触者で陽性が判明した方などは、医師の診断を受けずに経過を見ている場合が多いと思う。それだと、症状が進んでからの治療開始になるのではなか。陽性判明時に医者を受診できるよう体制をつくるべきではないか。

(小原副市長)

現状の医療資源の状況ではなかなか難しいと感じるが、症状の変化を早期に察知、掌握して医療機関につなげて重症化予防していきたい。

(高橋議員再質疑)

宿泊療養施設は第4波では無症状者も対象だったが、第5波では主に軽症者を対象にすると聞いているが現状はどうか。

(小原副市長)

入院については重症の方と中等症の方、宿泊療養については軽症の方、そして自宅療養は無症状および軽い症状の方というように運用している。特に自宅療養については酸素飽和度96以上の正常値の方で、無症状およびほぼ症状がなく、自宅療養が可能な方を対象としている。

(高橋議員再質疑)

家庭内感染は、宿泊療養施設に入ることによって確実に防げる。さらに、看護師が常駐し、医者も巡回し初期段階の治療もできる。できるだけ無症状の方も含めて対象を広げてほしい。8月4日に斉藤兵庫県知事が、中等症以上の患者は入院、軽症無症状者は宿泊療養施設に入ることの基本にした従来の運用を堅持すると発言されているが、市長も同様の認識なのか。

(久元市長)

他の家族と十分な隔離ができないなど感染の危険があり、本人からも申告があり、客観的に見て難しいという方は宿泊療養施設に入っただけで、それぞれの状況をよくお聞きし、必要な対応するということを基本にして考えていきたい。

(高橋議員再質疑)

無症状でも自宅療養が感染対策上好ましくないと判断した方は、宿泊療養施設に入所させるということだが、もう少し拡充できないのか。自宅療養が適切でないという判断をできるだけ厳密にやっていただいて、無症状者もできるだけ宿泊療養施設に入っていたら

くという方向でぜひ考えていただきたいがどうか。

(小原副市長)

個々の事情等に応じて、実情を勘案しながらで判断している。一方で宿泊療養施設の確保についても無制限にあるわけではないので、今は感染者数の増に対応して箇所数を増やし、確保病床数を増やしているところだ。

(高橋議員再質疑)

今回の第5波対策のポイントなので、できるだけ療養施設の対象者を拡充していただくことを要望しておく。

## あわはら富夫議員 代表質疑要旨 (2021年9月7日)

### 1、今後の財政見直しと事業見直しについて

市は昨年6月三宮再整備の全体事業費を公表し、市負担総額は1,570億円とした。特に収支不足累計額が436億円になる2026年までの間に、三宮再整備や大阪湾岸道路延伸の市民負担が急増し、1,500億円に近づくことが予想される。その資金は建設地方債で賄われることから、公債費を押し上げ将来の義務的経費比率を高めることになる。

昨年6月、私の三宮再整備を見直すべきという質問に対し、市長は湾岸道路、三宮再整備は大部分は建設地方債で起こすが、償還がそれぞれの年において耐えられるかどうか検証していくと答弁。その後、今年4月に2号館新庁舎の音楽ホールの設置中止の計画見直しを発表した。

ここで質疑するが、三宮再整備や大阪湾岸道路延伸事業など、大規模事業の事業規模や時期などの再度の見直しが必要と考えるがどうか。

また、相次ぐコロナ対策で財政調整基金が71億円と半減している。近づく南海地震への備えや、災害多発も予想される。財政調整基金の増額が必要と先ほど市長答弁もあったが、金額的にはどれぐらいの増額の準備を考えているのか。

(久元市長)

事業の市負担分の多くは市債発行で、将来の財政健全化に影響を与えないことが問題だ。財政健全化を示す指標の実質公債費比率、将来負担比率は、神戸は政令指定都市の中で上位で良好な水準にある。今後事業進捗や市債発行でこの二つの指標は緩やかに上昇していくことが見込まれるが、将来的な財政健全性を大きく損なわない範囲で財政運営をしていく。

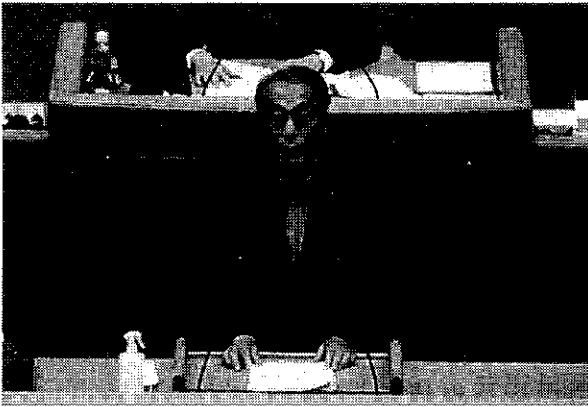
(今西副市長)

財政調整基金をどの程度確保すべきか明確な基準はないが、新型コロナウイルス出現以前の水準、とりあえず120億という状況をまずは目指したい。先の市長答弁で政令市の平均は200億程度という話もあったが、120億が達成できれば、それを視野に入れ増額を考えていく。

(あわはら議員再質疑)

三宮再整備は市の計画では順調に進んでると言うが、民間活力を引き出すものにはなっていない、そこを少し立ち止まって見直してみる必要がある。それと財政調整基金だが、昔19年間、財政収入で苦労したが、その時は財政調整基金263億円や使える各種基金が別にあり総額2,073億円あった。現在は使える財政調整基金は少なく、今後この財政の強化を考えていただきたい。





## 2、市長の政策決定過程の明確化について

昨年の質疑で政策決定過程の公開について、意思決定過程の透明化は重要な課題であり、政策会議の活用あるいは、公開内容の充実についての検討や、意志決定過程のルール化についても課題だと認識している旨の答弁があった。どのような検討がされたのか。

また「政策会議」や「神戸市新型コロナウイルス感染症対策本部員会議」については、議事内容が公開されているが、詳細な議論の内容は記載されていない。議事録を公表している都市もあり、本市でも議事録を議会や市民に公表し、政策決定の透明化をすべきだと考えるがどうか。

### (今西副市長)

令和元年度より政策会議の内容を公開しているが、令和2年度からは、提案概要の記載を充実し、議論の中で出た個別意見を記載するなど公開内容の充実を図った。本市の政策決定に関しては、政策会議をはじめ、予算編成や通常の決済行為、日常の市長副市長との打合わせなどで行っている。政策会議については、市の重要な政策を決定する場として今後も積極的に活用していく。

政策決定過程の可能な限りの公開が重要であると認識しており、ホームページ上に政策会議開催日時や出席者、議題、提案概要、会議結果を公開しているが、議事録全体の公開で自由な意見交換が妨げられる可能性などがあり、公開範囲を絞っている。また新型コロナウイルス感染症対策本部会議についてもホームページ上に会議の開催日時や出席者、議題、会議結果を公開している。

政策を形成推進していく上で、その決定プロセスを可能な限り公開していくことは行政の透明性確保の観点から重要であると認識しており、政策会議をはじめ、意思形成過程の公開のあり方については継続して検討していく。

### (あわはら議員再質疑)

市長のトップダウンによる政策決定が多いのではないかと。例えば、「リノベーション・神戸」のまちなか街灯の大幅増設とLED化対応では、街灯設置期間がタイトであり、現場事務所任せでマネジメントが不足していたことから、補正予算を編成し市民負担を強いることとなりルールなき政策決定の問題の一つだ。リーダーシップを発揮するための独任制は一定必要であるが、きちっと議論を積み上げて、その政策が生きるためには基本的なルールは必要だ。例えば千葉市では庁議要綱があり政策会議、調整会議、局長会議が役割も全部明確になっている。大阪の方も、連絡調整会議なども明確に規定をして情報公開している。その辺の検討を要望するがどうか。

### (久元市長)

リノベーション神戸については予算を大幅超過し、執行についても非常に問題があり、最終的には私の責任だ。現場の方でせつかくの事業だから早くやろうというマインドで仕事を押したが、同時に進行管理が十分ではなかったことは反省点だった。今の政策会議、その他の会議の運用、議事録の作成や情報公開のあり方は最適なものだと考えていないので、議員の提案も含め検討させていただきたい。

## 3、新長田南再開発事業の市民検証報告書への対応について

今年の1月、新長田駅南地区再開発事業について、市による検証の報告がされたが、有識者による検証委員会は、実質4回しか行われておらず、もう少し時間をかけて議論を深めるべきだったのではないかと。また、市の検証報告書は復興事業の本質を明らかにしていないとし市民団体による報告書が市に提出されたが、市長はどう受け止めているのか。

### (今西副市長)

検証委員会では十分時間をとり検証を行っていただいた。その後、市民グループから報告書が提出され、当時の都市計画事業の進め

方に対し、十分に住民との話し合いの時間をとるべきとの意見や、災害便乗型の都市計画だという意見などが記載されている。当時は早く元の場所に戻りたいという思いに応えるべく、都市計画などの手続きを進めた一方、想定通りにいかなかった点もあったことも事実だ。市民の立場から検証が行われたことは意義のあることで、意見や批判についてはしっかり受け止めたい。

#### (あわはら議員再質疑)

検証を表明したのは市長で、市民が検証をいろんな角度で行い市長が直接受け取られたが、市長としてこの市民側の評価をどう受け取っているのか。約500億円の赤字を出した原因はどこにあったのか、その問題点をちゃんと捉え今後の戒めにしてほしい。ところが市の報告書はそれを課題として掘り下げていない。その原因をはっきりさせることが次の出発になり、これを問題点として取り上げて掘り下げてないことが市の検証の一番の問題であると思うがどうか。

#### (久元市長)

私どもの検証報告とは違う立場で市民グループが検証されたわけで、違う考え方で検証も聞いた方が良いという思いでお会いをいした。既に開発はほぼ終わっており、スタートの時点の話で、歴史を変えることはできないが、今後の方向性は、新長田をさらに活性化をさせたい、その際、巨大開発ではなく、新長田が持っている良さを大事にしながら、新長田の価値を進めてほしいということだったので、そういうご意見も踏まえながら活性化に取り組んでいく。市の検証報告は、第三者的立場から行われた報告で、これに対する批判はありうる。異なる立場の意見や検証を受け止め将来に生かすことが大事だと思う。

## 4、神戸交通振興株式会社の解散と雇用問題について

先日、神戸交通振興株式会社の解散が発表された。先の委員会などでも、安全面やサービス面などの問題を指摘してきたところであり、ガバナンスに問題があったのではないかと考えている。解散して終わりではなく、ガバナンスが適切だったのか、今後検証する必要があるのではないかと。

また、神戸新交通株式会社が管理していた資産については、株式会社OMこうべに一元

化され、シティー・ループなどの路線バスの運行や地下鉄の駅業務は民間事業者へ委託することだが、解散したことによる運転士などの雇用問題はどうか。市出資率100%団体でもあり、関わっていく必要があるのではないかと。

#### (城南交通局長)

ガバナンスについてはご指摘のように、魚崎営業所では運行管理体制に問題があったと認識している。そのため運行管理マニュアルの改善充実、運転手の研修、安全向上委員会や事故審議会の開催、事故原因等の検証究明などで改善を図ってきた。交通局としては業務改善計画およびその実施を毎月報告をさせ指導を行い、運転実技研修の支援などを行ってきた。そのような取り組みで運行ミスなどは着実に減少してきており成果が出てきている。

また雇用確保は重要課題と認識しており再就職先の確保は、出資者である交通局としてもしっかり実施していきたい。現在働いておられる方々ができるだけ継続してその業務に携われるように働きかけていきたい。魚崎営業所では神戸交通振興の方々の雇用確保と円滑な業務の移管に努めていきたい。残念ながら、次期運営事業者等に雇用されなかった方に対しては、神戸交通振興で再就職活動を支援するサービスを導入することとしている。

#### (あわはら議員再質疑)

雇用問題での組合4団体の要求は、できればそこで働き続けられることを最大限追求していただいたという要望だ。1人も残さず何とか雇用先を見つけるなり最大限努力するということは強調してもらいたい。それを応援するため市としてもバックアップをしていただきたい。

#### (今西副市長)

基本的にはまず交通振興がやっていただき、交通局としての対応もしっかりやっていただく。その状況を見極めた上で、積極横断的に必要な協力や支援があれば行っていく。

## 5、ユニバーサルツーリズムの推進について

NPO法人ウィズアスは、無料で車いす



(6)

を貸出す「KOBÉどこでも車いす」など、高齢者や障がい者の方が安心して神戸観光を楽しむ「ユニバーサルツーリズム」を中心として取組んでいるが、市の支援が十分ではない。超高齢化社会が進展する中、「ユニバーサルツーリズム」の重要性は高まっており令和4年度には世界パラ陸上競技選手権大会が開催されることから、「ユニバーサルツーリズム」の取組みを中心となって実施する当該団体への支援を拡充するべきと考えるがどうか。

(今西副市長)

本市では、ウィズアス以外にも様々な企業、団体により交通のインフラや宿泊施設などのバリアフリー化対応などハード面の取組みのほか、バリアフリー旅行の相談窓口の設置など、ユニバーサルツーリズムの取組みが進められている。コロナの影響により観光関連事業者は厳しい経営環境で、この当該団体に限った助成金拡充は難しい。今後活用で

きる様々な制度を紹介するなど、引続き支援をしていきたい。

(あわはら議員再質疑)

ウィズアスがやってるユニバーサルツーリズムは全国から学びに来ており、特別支援学校からの旅行申出なども受けている。明石市ではそういうグループに対し450万円の補助金を出している。神戸の100万円はあまり厳しくコーディネート業務ができにくくなっているという状況もある。どういう形でだったら支援できるのか検討していただきたい。

(今西副市長)

ウィズアスは車椅子事業もやっていただいているということも含めて、観光局の方で特別に助成しているが、コロナで旅行関係が非常に厳しいという状況の中、ユニバーサルツーリズムは今後推進していく大事なもので、一度検討をさせていただきたい。

## 決算特別委員会各局審査質疑項目

### あわはら富夫議員

#### ●都市局

1. 都心・三宮再整備の全体事業費及び経済効果の見直し
2. 新長田南再開発事業の市民検証報告書への対応
3. 空港島の事業収支

#### ●交通局

1. 神戸交通振興(株)への市交通局のガバナンス
2. 神戸交通振興(株)社員の再就職支援
3. 経営計画2025 について



### 小林るみ子議員

#### ●行財政局

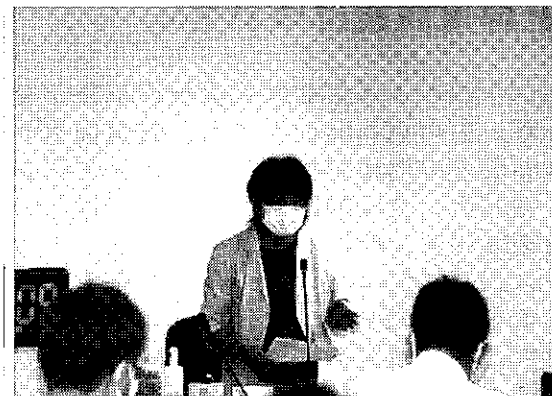
1. 保健所・保健センターの体制強化について
2. 区役所業務の民間委託問題について

#### ●企画調整局

1. 男女共同参画社会の推進について
  - ①女性の経済的自立への支援
  - ②LGBTへの理解促進
2. 子供の居場所づくりについて

#### ●建築住宅局

1. 障害者グループホームの整備促進について
2. マンションの管理支援について



## 高橋ひでのり議員

### ●文化スポーツ局

1. スケートボード競技の推進について
2. ストリートピアノの拡充について
3. 神戸ゆかりの美術館での集客力のある特別展開催について
4. コロナ禍における市民山の会・ラジオ体操の表彰について

### ●こども家庭局

1. 学童保育の充実について
2. 子供の居場所づくりについて
3. 一時保護所の児童の処遇改善について

### ●経済観光局

1. 新規就農者の確保と定着について
2. 新規就農者の増加に向けた取組について
3. 農業関係人口の増加に向けた取組について

### ●港湾局

1. カーボンニュートラルレポートについて
2. みなとの学習会について

### ●教育委員会

1. 不登校等の児童生徒に対する支援について
2. ネットいじめ・ネット依存防止対策について
3. 分限休職処分の取消裁決について



## 香川真二議員

### ●危機管理室、消防局

1. 暮らしの防災ガイド（ハザードマップ）や避難情報の活用について
2. 防犯カメラによる犯罪減少効果について
3. 女性消防職員を増やす取組について
4. 避難訓練の参加率を上げるための取組について

### ●福祉局

1. 障がい者の就労支援について
2. 相談支援専門員の体制強化に対する支援施策について
3. 障害者地域生活支援拠点における「生活介護」および「短期入所」について
4. 困窮する高齢者への対応について

### ●健康局

1. ヘルスケアデータ連携システムの状況・今後・PRについて
2. がん検診受診率向上策について
3. 神出病院事件後の対策について

### ●環境局

1. 海洋プラスチックごみ問題への取り組みについて
2. 食品ロス削減の取り組みを通じたごみの減量について
3. 市民の環境意識の醸成について
4. 小型家電回収ボックスの利用状況について
5. 山林への太陽光発電施設の設置について

### ●建設局

1. 神戸市の浸水対策・河川の氾濫対策等について
2. 神戸西バイパスの整備について
3. 西神中央駅周辺の渋滞について
4. 垂水病院東側隣接道路について

### ●水道局

1. 災害時対応に備えた組織について
2. 水道事業での水源と財源について
3. 水道料金について
4. こうべの水のPRについて
5. 小水力発電・マイクロ小水力発電について





## 小林るみ子議員・決算特別委員会総括質疑要旨

### 1、区役所業務の民間委託について

兵庫及び北神区役所においては、10月から市民課を、来年4月から保険年金医療課の定型的業務が委託され、特に、市民課は10月からの委託開始に向け、現在、委託後と同等の状態での試行実施を行っている。現場では、偽装請負防止のためのレイアウト変更を行うことから、受託者と職員の書類のやり取りに時間がかかるなど、待ち時間が長くなっている。また、DVや就学事務等のデリケートな事務や個人情報の保護や管理、防災時の職員体制の懸念、官製ワーキングプアの問題など、様々な課題があると感じる。本来の公共の役割を考えるとコロナ災害の混乱期に委託を開始するのではなく、慎重に効果検証を行うため、試行期間を延ばすべきと考えるがどうか。

#### (久元市長)

業務委託開始後は、受託事業者から月次報告を出させ、提案水準を満たしていない場合は改善策を求める予定で、現在円滑な本格実施に向け試行している段階だ。そのため、試行実施の中で課題を解決し、必要な点検を行い本格実施後は市民サービスに影響がないよう実施したい。

#### (小林議員再質疑)

保険年金医療課は、法制度が次々と変わり、プライバシーの宝庫と言われるぐらいの部署で、市民と接する大事な部署の窓口業務を軽視しているのではないか。既にいろんな自治体で民間委託が入り、職員が窓口になくなり、職員の窓口業務対応スキルの低下が課題としてあると聞いている。職員のモチベーション低下にも繋がると思うがどうか。

#### (久元市長)

複雑な窓口業務は区役所まかせにせず、本庁との連携で対応すべきで、マニュアルで提携した業務は職員でなくてもでき、民間委託でサービスを向上させるのが業務委託の方向性だ。

#### (小林議員意見)

民間委託は結果として市民サービスの低



下、職員の労働条件の切り下げにつながる以上、試行期間を延ばし、検証・整理していくべきで、安易に民間委託を進めるべきでない。

### 2、コロナ後遺症の対応について

新型コロナウイルス感染症の後遺症として、倦怠感や味覚障害、呼吸器の機能障害などに悩む方も多く、後遺症の影響で職を失い、呼吸器の機能障害により在宅酸素治療が必要となる等、経済的に困窮している方もいる現状である。神戸市として、感染者の退院後の追跡調査はしているのか、また現在どのような支援をしているのか。

#### (小原副市長)

市としては後遺症の患者の実態把握はできていないが、各区保健センターでは、後遺症相談の場合は、医療機関を紹介している。後遺症対策は全国的な課題であり、対策の検討を国に要望しているが、後遺症の状況把握は検討したい。

#### (小林議員再質疑)

追跡調査はぜひやっていただきたい。また、コロナ後遺症により、在宅酸素が必要な方は多額の自己負担が必要であり経済的に困窮していることから、医療保険や障害認定に基づく補助に留まらず、国に新たな支援制度を整備するよう要望するとともに、市独自の経済支援も講じるべきと考えるがどうか。

**(小原副市長)**

後遺症については国の方で、実態調査が行われてる段階で、治療法対策も要望しており、国の動きに注視したい。

**(小林議員意見)**

精神的・身体的な症状により悩んでいる市民の実情を把握し、支援に繋げていくためにも、本市独自でコロナ後遺症に対する総合相談窓口を設置していただきたい。

**3、教員のいじめ問題について**

東須磨小学校におけるいじめ問題をきっかけに、本市では我が会派から様々な指摘をしてきたにもかかわらず、異例の速さで関連条例を改正し、給与の差し止めを行った。その後、加害教諭は不起訴処分となり、先般、人事委員会は加害者側の不服申し立ての主張を認める裁決を行う等の結果となったが、当該一連の騒動について、教育委員会はどのようにとらえているのか、また処分を追認した

市長はどう考えるか。

**(長田教育長)**

このたびの採決において、処分手続きに瑕疵があったと指摘されたことは申し訳ない。今後職員の身分に関する事務など事務執行全般で法令にもとづき、適正な執行を徹底していく。

**(久元市長)**

処分は任命権者の教育委員会の判断と責任で行ったもので、市長は追認するしないの立場ではない。当時は懲戒処分では一定の時間がかかり、市民からの批判も殺到するという、異例の事態の中で、緊急事態を解消する必要な対応として、市長の責任で分限理由を追加する条例改正を提案した。

**(小林議員意見)**

審議が決して十分でないまま、違法性のある条例改正で事態を収束させようとした責任は大きい。

**浦上忠文議員・一般質問要旨****～久元市長の政治姿勢について～**

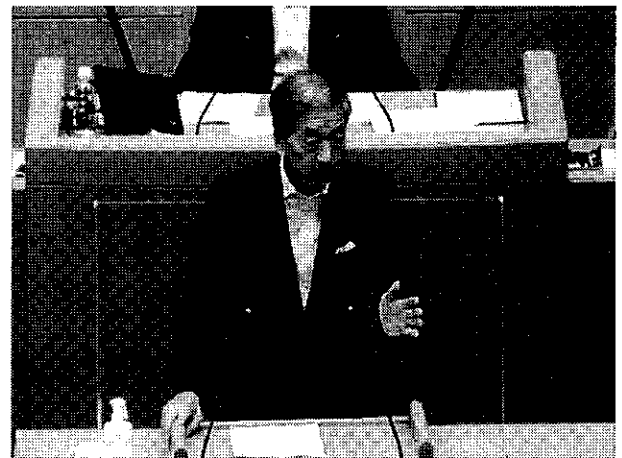
組織のリーダーには、自ら手を挙げてポジションを求めるタイプと、周囲から推されてなるタイプがある。笹山市長は「市長になりたいくなかったのではありません」と、矢田市長も「なりたくてなかったのではありません」と、機会あるごとに言われていた。久元市長はどちらのタイプであるのか。

**(久元市長)**

私は自ら手を挙げてというタイプではなく、国家公務員として職業人としての使命をまっとうするつもりでいたが、その後いろいろな経過や縁があり、神戸で仕事をさせていただくことになり、自らの判断で8年前に市長選挙に挑戦した。どちらかというと笹山市長、矢田市長に近いと感じている。

**(浦上議員再質問)**

三陸が津波の被害にあった時に、被災した小さな工場の影響で世界中の工場がストップしたことがあった。グローバル社会とは、最大にして最強のものも、最小にして



最弱なものの支えを必要としている世界である。グローバル時代は、「お互い様、お陰様」の精神で分かち合い、支え合い、助け合う社会であるべきであり、このようなことについて、若者をはじめとした市民に伝えていく神戸市であるべきと考えるがどうか。

また、私が若い頃、病気で市民病院に運ばれたとき、医者に「ここは神戸の大きな病院です。何事が起ころうと安心です」と言われ



(10)

たことが、神戸はいい街だと感じてきた。今回選挙に出られるそうだが、「ここは神戸市役所です。何事が起ころうと安心です」と言い切れるような市役所にしていきたいがどうか。

(久元市長)

浦上議員の「お互い様」は、これまで地域

社会の中での話と理解していたが、今の指摘で、地域社会だけでなく、普遍的に世界全体にあてはまると感じた。

今後は、浦上議員と同じ気持ちを持ちながら、仕事に取り組み、職員の皆さんともそういう気持ちが共有できるような市役所を目指し取り組みたい。

## つなぐ議員団・街頭市政報告会のご案内

4回目となる、つなぐ議員団の街頭市政報告会を以下のように開催します。決算市会報告など5人のメンバーが様々な課題で、アピールします。ぜひご参加下さい。

- と き 11月14日 (日) 午後2時～3時
- ところ JR住吉駅・南側



# つなぐ 神戸市会議員団ニュース

2021年 第6号 12月17日  
神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会29階  
TEL.078-322-5849 FAX.078-322-6167  
e-mail:nsp-kobe@portnet.ne.jp

## INDEX

第2回定例市会11月議会終わる	…1
小林るみ子議員・一般質問要旨	…1
動物園を含む王子公園の再整備基本方針(素案)が明らかに	…5
つなぐ議員団・第4回街頭市政報告会を開催	…6

## 第2回定例市会11月議会終わる

11月29日から12月8日の会期で開催された第2回定例神戸市会11月議会が終了しました。

今議会では、新型コロナ対策として3回目のワクチン接種実施、PCR検査等の実施、後遺症相談体制の構築など、また国の子育て世帯と生活困窮世帯への臨時特別給付事業の補正予算が提案され、可決されま

した。

最終日に行われた一般質問では、小林るみ子議員(新社会党)が、(1)コロナ後遺症対策について(2)行財政改革による人員削減について(3)市民の声を施策に生かすために①公営住宅のアスベスト対策、②公文書館の整備、③旧灘区役所跡地問題について質問しました。別途、要旨を掲載しています。

## 小林るみ子議員・一般質問要旨

### 1. コロナ後遺症対策について

神戸市は、11月1日から、コロナ後遺症の方々を対象に後遺症相談ダイヤルを設置し、第4波の感染者約5,000人を対象に実態調査を始めた。早急な対応については評価する。しかし後遺症については、未だ治療法やリハビリ療法が確立していない中、病院紹介等のアドバイスしかできないのが現状だ。しかも多くの患者は、未だ完治しているとは言えない「罹患症状」であるにもかかわらず、自己負担を伴い生活に影響が出ている。通院治療費も公費負担対象になるよう国に働きかけ、神戸市独自でも経

済的支援・生活支援を考えるべきだがどうか。

### 久元市長

医療費負担は、感染期間は公費で対応し、隔離解除後は通常と同様に医療保険を使い診療を受けていただいている。今後国には、後遺症対策として早期に治療法を確立するなど、科学的知見に基づいた対策を早急に講じ、医療費の対策を検討するよう要望している。今後も、後遺症に悩まれる方々への相談対応を行うとともに、国の動向を注視していく。

(2)



### 小林議員再質問

後遺症で仕事を辞めたり減った方もおり、経済的な生活支援が必要だ。国に対し後遺症の方も公的支援の対象になるように求めている。また神戸市として追跡調査をしていただきたい。それと相談窓口は看護師が対応しているが、相談内容は医療面はもちろん、生活相談もあると聞いており医療ソーシャルワーカーの配置が必要だがどうか。

### 小原副市長

厚生労働省で後遺症に対する研究班を立ち上げ調査が行われているところで、今後報告が行われる。本市の実態調査は結果を踏まえ、相談ダイヤルでの対応に生かしていき、今後の後遺症対策にも活用していけると考える。ただ後遺症の経過については、国の方で追跡調査が行われるようで、その状況を把握しながら市としても対応を検討していく。

相談の中味は、医療機関紹介が大きなウエートを占めるが、生活支援相談が出てくれば、情報をよく把握しながら必要な施策に結びつけることを考えていく必要があり、何ができるかは実態等を把握した上考えていく。

## 2. 行財政改革による人員削減について

行財政改革2025のもと、兵庫区役所と北神区役所の市民課業務は10月から委託を開始し、来年4月から保険年金・医療課での委託

開始へと拡大、2024年10月には、全ての区役所で業務委託が開始される。既に委託が開始されている職場では「8人派遣職員が入ってきて必死で教えても、2人辞め、また新人が入り一から研修をするが、また辞めると追いつかない」「派遣職員自身もこんな仕事をやるとは思わなかったと言っている」「そろそろ窓口に出てもらおうという段階で辞めていく派遣職員が多い」「派遣職員が区民とどんなやり取りをしているのかわからず、訂正することが多く、フォローしなければならない職員の負担は大きいものがある」「職員が疲弊していく」等々の職員の声が聞かれる。「始まったばかりだから追々に」ではなく、導入半年後をめぐり、民間委託の現状をきっちり検証する必要があると考えるがどうか。

### 今西副市長

立ち上がり時期ということもあり、委託事業者は実務経験のあるスタッフを他都市から呼び寄せ円滑に業務を実施できるよう対応している。今後の展開については、先行実施地区の状況を踏まえ、委託事業者と協力しながら、委託準備の手法などについて、今年度から令和4年度にかけて改善できる点を整理し全区展開に向けて検討を進めていく。

### 小林議員再質問

派遣職員の雇用期間は3年というふうに聞いているが、次々と辞めていく方が多い中で、交代する可能性もあり、本当にスキルの継承ができるのか。来年の4月からは医療年金保険課も民間委託が始まるが、プライベートの宝庫でもあり、次々と制度が変わっていく中、市の職員でも対応するのが難しい中、果たして派遣職員の方が対応できるか。民間委託で市民だけでなく、職員も派遣職員も大きなしわ寄せが出ている中、



この民間委託は、一度きっちりと検証するべきだと思うがどうか。

#### 今西副市長

派遣期間は委託事業者が決定をするものであり、市民サービスが円滑に行われることが大変重要で、そういう水準がきちっと維持できるよう業者に対しても指導していく。今実施している業務は、常に検証、評価もしており非常に順調な形で推移ができており、改善できる点は全区展開にも生かし保険年金医療課の業務にも反映させていきたい。

#### 小林議員意見

順調にという言葉があったが、職員の声でも決して順調ではないことは明らかだ。職員の方は本当に大変な状況で、ぜひ現場を見て今後のことを対応していただきたい。

### 3. 市民の声を施策に活かすために

#### ①公営住宅のアスベスト対策について

下山手市営住宅の解体工事におけるアスベストの見落としを指摘した団体と懇談をした。その団体は、何度も神戸市への申し入れを重ねてきたが、納得できる回答を得ることができていない。一つは、解体の請負業者が施錠されていた電気室の確認を怠っていたことを理由にし、なぜそのようなことが起きたのか、根本的な原因については不明だ。納得できる説明をお願いする。もう一つは、調査は予備調査・事前調査・再調査と3回行われたが、結果はバラバラで、どれが正しいのか何を信じて良いのか、納得できるものではなく、不信感が残っている。調査結果がなぜここまで異なるのか、その理由について伺う。

#### 油井副市長

調査を実施するにあたり、電気室の鍵を壊して内部を確認するよう本市から指示をしたが、本市においてその調査結果の確認を怠っ

たものだ。調査の不一致だが、本市における予備調査ではアスベスト含有となり、異なる請負人が事前調査、再調査を行い専門機関の確認を行ったが、原因特定に至らずアスベストの含有について否定することができないとの判断で今回新たな解体の工事をしようとするものだ。

#### 小林議員再質問

2006年に公営住宅に吹きつけアスベストが使用されていることがわかり、全国で一斉の調査が行われアスベストの使用が2万2千戸あったことが報道された。神戸市でも使用され既に対策工事が終了しているが、下山手住宅は調査対象にはならなかったのか。その当時に調査をしたことがこの報告にはのっていないってことは、見落としたいことでよいか。市の方はいわゆる設計図書、それを確認して対応するというのが普通だが、それが施工業者に指示されなかったのはなぜか。

#### 油井副市長

当然対象としてやっていたと思うが、電気室については鍵がかかって閉鎖された空間ということで調査がされず、住民が居住されているところについては調査をし、必要な対策はとっている。事前調査の実施にあたり、鍵を破壊して内容を確認するよう本市の方から指示をしたが、実際はその部分について調査をしたかどうかの確認を怠ったということで大変申し訳ない。

#### 小林議員再質問

これだけ調査結果がバラバラになるのは、専門家は分析方法に問題があるんじゃないかと言っている。信頼できるアスベスト調査の専門家が神戸市に必要だ。平時から公正な調査ができるよう、建築物石綿含有建材調査者協会が尼崎や西宮市と協定を結んだ報道があったが、神戸市はどう考えるか。

(4)

#### 油井副市長

今回の事例を受け再発防止を徹底していくため、神戸市の建築技術管理委員会の中で再発防止の検討を進め、また専門資格である建築物石綿含有建材調査者も活用するなど、有資格者により確実に調査されていることをチェックすることにより、再発防止に努めていきたい。他都市の協定状況も確認し、どういう対応が良いのか検討させていただく。

#### ②歴史・公文書館の整備について

去年の代表質疑の場で、震災後凍結されていた『神戸平和記念館基本構想』の解除を求めた。新規事業として歴史公文書館の整備が予算化されたことで、単なる資料の保存・保管だけでなく、メッセージ・情報発信する場にしていただきたいと質疑し、市長は「きちんとした文書館を作るべきだということで検討し、場所の選定も含めて作業を行っている。中身は、今後の議論で各方面の意見を受けながらその可否も含めて検討する」と答弁された。この間、『神戸空襲を記録する会』をはじめ、『神戸に平和記念館をつくる会』『神戸市原爆被害者の会』『戦争を語りつぐ会』などのグループや地域団体が、戦争を風化させないための様々な取り組みに力を入れている。その培われてきた財産を生かすためにも、その方々に意見を聞く場を持つべきだと考えるがどうか。

#### 今西副市長

歴史公文書館では収集した公文書や地域の文献等の資料などを使い、神戸の歴史を回顧できる常設展示室を整備する予定で、展示の内容や方法についてはこれから検討していく。現時点では未定だが神戸空襲や戦災についても検討していく。今後必要に応じて、有識者や市民などから意見を伺いながら、引き続き整備に向けて検討していく。

#### 小林議員意見

ぜひそういう場を設けて、本当に良い場を作っていただきたい、発信する場所にしていただきたい。

#### ③旧灘区役所跡地問題について

現在、旧灘区役所跡地にある消防署の現地建替えと周辺の土地の利活用についての検討が進んでいる。既に民間事業者を対象に、サウンディング調査が行われ、それを基に、今後の公募条件が作られ、公募が始まる。そこが公有地である以上、神戸市は市民に周知し、市民の声・要望を聞き、生かすべきではないかと考えるがどうか。

#### 今西副市長

官民一体での建築計画は、この土地の持つポテンシャルを最大限に発揮することができないか、また地域活性化にも寄与できないかと考えている。当該土地は、旧区役所の跡地であり、かつてこの中心であったという思いが地域にもあり、いろいろなご意見が寄せられている状況だ。寄せられたご意見、庁内各局からの利用ニーズ、民間事業者の考え方、当該土地のポテンシャルなどを総合的に勘案しながら方針の検討を進めていきたい。

#### 小林議員意見

市民が全く知らない。灘区役所跡地問題もそうだが、王子公園再整備では昨日説明会があり、多数の様々な意見が出たそう。まず市民に知らせること、地元の声を聞いていただくことが大前提だと思う。

説明会が昨日だけではあまりにも少ない。パブリックコメント以前に説明会を頻繁に持っていただきたい。

## 動物園を含む王子公園の再整備基本方針（素案）が明らかに

### 再整備や遊園地・プールの廃止に疑問や反対の声

#### 来年1月17日まで意見募集

開園から70周年を迎える、動物園を含む王子公園の再整備基本方針（素案）が明らかになりました。中味は、大学の誘致やスポーツ施設の再編、動物園の改修などです。その中では、動物園内の遊園地、プール、テニスコートの廃止が盛り込まれています。

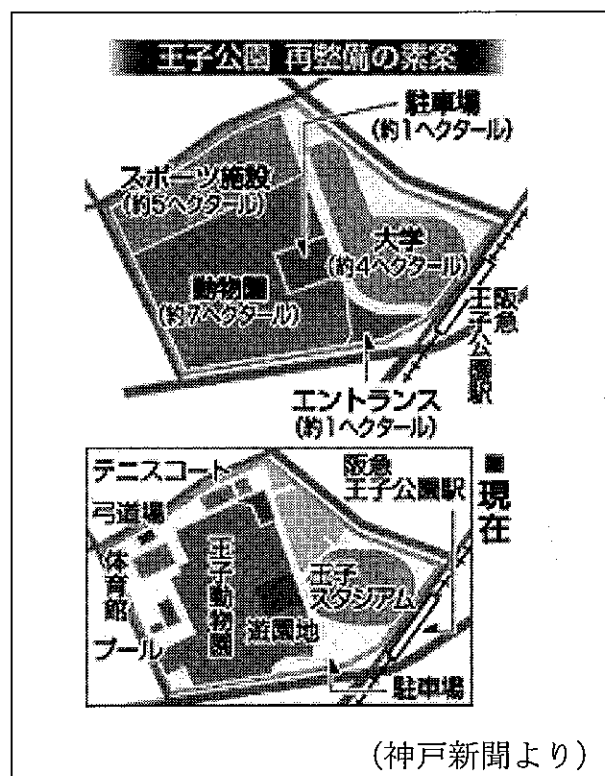
詳細は、王子スタジアムと補助グラウンドを廃止、その用地に大学を公募。スタジアムは動物園の北側に移転し、陸上トラックはなくし、アメフトやサッカーなど球技利用を中心に。そして今の動物園内の遊園地は駐車場になり、プールは廃止、体育館と弓道場は北側に移り、その場所に動物園が拡張されるものです。

動物園は基本構想の策定が進められていますが、未だ内容が明らかになっておらず、運営が市から民間に移される可能性もあります。そうなれば須磨水族園のように教育的側面や低料金での利用が難しくなる可能性もあります。

一方、公園周辺は歴史的建造物や良好な環境で、散策などを楽しむ人が多く、整備そのものに疑問を持つ市民の声もあります。また、遊園地やプールは低価格で楽しめることから、子供たちに人気があり、廃止されることに反対の声が出ています。

十分に市民の意見を聞かないまま、また動物園の具体的な構想や中味が明らかにされないまま、基本方針の提示は時期尚早であり、再考すべきです。今後、神戸市は来年2月末には「基本方針」を策定、その後「基本方針」をもとに、動物園や新スタジアムなどの基本計画を策定する予定です。

この基本方針（素案）に対する意見募集が以下の要領で、来年1月17日まで行われて



(神戸新聞より)

います。基本方針に、みんなの思いや意見を反映させましょう。

意見募集の要領や基本方針（素案）は神戸市ホームページに掲載されています。

【神戸市ホーム → 市政情報 → 市の広聴 → パブリック・コメント → 市民意見提出手続の実施状況 → 王子公園再整備基本方針（素案）に対する意見募集】



## 第4回街頭市政報告会in住吉駅を開催しました

次回は来年、西区で開催



つなぐ神戸市会議員団は、11月14日（日）午後、JR住吉駅前で街頭市政報告会を開催しました。

約30人の方々に参加いただきました。コロナ禍を考慮して今回で第4回目となった街頭報告会では、まず地元の浦上忠文議員が、困って苦しんでいる人を助ける市役所にしたと、つなぐ議員団の想いを披露。

高橋ひでのり議員からは専用病棟設置や後遺症対策などコロナ対策でのつなぐ議員団からの提案が活かされたこと、小林るみ子議員は保健所機能の強化と市で進む民間委託への問題

点などを指摘、香川真二議員からは医療的ケア児支援の国の制度の充実と神戸市での取り組みなどを報告。

最後にあわはら富夫議員が神戸市財政の悪化の現状と市長の意思決定過程のルール化と見える化が遅れていることを指摘しました。

参加者からも障害者児施策や民間委託問題、神戸市の震災からの復興施策の問題点などの質問がありました。

なお、報告会には元市会議員の小山乃里子さんも参加されました。次回の報告会は、来年西区で開催する予定です。





# つなぐ 神戸市会議員団ニュース

2022年 第1号 2月21日  
 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会 29階  
 TEL.078-322-5849 FAX.078-322-6167  
 e-mail:nsp-kobe@portnet.ne.jp  
<https://tsunagu-kobe.site/>

## INDEX

第1回定例市会2月議会始まる	…1
来年度予算案、市税収入増も厳しい中期財政見通し	…2
第1回定例市会日程表	…3, 4
議員団市政報告会、今年は毎月開催へ	…5
王子公園再整備基本方針（素案）に多くの疑問の声	…5

## 第1回定例市会2月議会始まる

### 代表質疑は2月25日に、香川真二議員

2022年度の神戸市予算案を審議する第1回定例市会2月議会が、2月17日から3月31日までの会期で始まりました。

予算案に対する、つなぐ議員団の本会議代表質疑は、2月25日（金）の午後に、香川真二議員が行います。また、2月28日から3月9日までは予算特別委員会の3つの分科会で、午前10時から夕方まで局別審査が連日予定され、3月14日（月）には、特別委員会での総括質疑が行われます。傍聴は本会議、各局審査いずれも自由ですから、

是非とも傍聴をお願いいたします。

各局審査のつなぐ議員団の担当は、第1分科会－浦上忠文議員（無所属・東灘区）・あわはら富夫議員（新社会党・中央区）、第2分科会－小林るみ子議員（新社会党・灘区）、第3分科会－高橋ひでのり議員（無所属・垂水区）・香川真二議員（神戸志民党・西区）です。質疑開始時間は毎日変わりますので、傍聴希望の方は事前に議員団事務局までお問い合わせ下さい。日程表は別途記載しています（3, 4頁）。

## 2022年度 予算案

### 市税収入増も、依然厳しい中期財政見通し

提案された2022年度予算案は、一般会計8,869億円で対前年度比1.9%増、特別会計は6,605億円で対前年度比1.1%増、企業会計は3,330億円で対前年度比1.2%増、合計1兆8,880億円で対前年度比1.5%増となっています。

一般会計では、歳入の特徴としては、新型コロナウイルスの影響で今年度は市税収入総額が大幅に減少しましたが、来年度予算案では3年ぶりに増加しました。その中味は、個人市民税は前年比＋54億円（前年比＋4.5%）、法人市民税は企業業績の回復で前年比＋57億円（前年比＋36.1%）です。また、固定資産税も新型コ

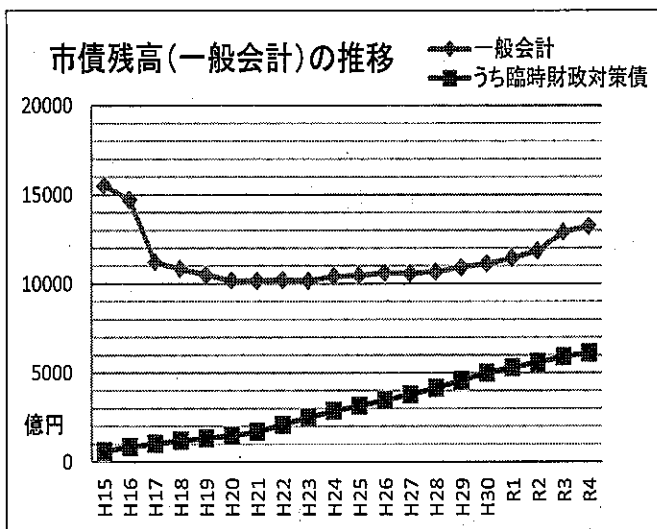
(2)

コロナに伴う減免措置の終了等で前年比+41億円と増加しました。

一方で市債は、三宮再整備などが増加した一方、須磨水族園別館・シーパル須磨の解体工事完了などで建設地方債が減少（前年比-2.5%）し、国税収入の増加で、地方交付税の振替である臨時財政対策債は前年比-52.0%の減少で、市債全体では-27.9%と減少しました。

### 臨時財政対策債 は市債残高の5割近くに

しかしながら、市債残高に占める臨時財政対策債はすでに5割近く（46%）に達しており（下図参照）、国は元利償還金は地方交付税で措置されるといいながら、実質的な補填は行われておらず、これも公債費を実質的に押し上げている要因になります。



一方、歳出の特徴では、性質別に見ると生活保護費は減少するものの、障害者自立支援金給付費増や保育定員の拡大などに伴う教育・保育給付増などで扶助費が増加しています。義務的経費（人件費、扶助費、公債費の容易に削減できない経費）は、前年比+66億円増の5,181億円に達し、予算全体の構成比では今年度の58.8%（予算値）から58.4%と若

干減少しました。また、投資的経費は、三宮再整備事業費が増加した一方、須磨水族園別館・シーパル須磨の解体工事完了等で、前年比-7.8%の減少となっているのが特徴です。

### 収支不足累計、令和9年度には440億円に

神戸市が今回予算編成で公表した中期財政収支見通しでは、何ら対策を講じなければ令和9年度には収支不足累計額が440億円になる見通しです。今年度以降、三宮再整備にかかる公共施設分1,130億円、大阪湾岸道路西延伸地元負担分400億円の投資的経費が増加することが予想され、その殆どが建設地方債で賄われることとなります。

今後これらの投資的経費は2025年までに集中することになり、その多くが建設地方債になることから、毎年の公債費を押し上げ、義務的経費比率を高めることとなります。実際、建設地方債は、2018年度313億円だったのが、2020年度は608億円、2022年度予算では620億円と4年間で倍増しています。

今後、高齢化で社会保障費・医療費は増加し、義務的経費も高い水準にとどまっております。withコロナ・ポストコロナ需要も加わり、市税収入の増加も見込めず、中長期的には依然として厳しい財政状況にあることには間違いありません。

#### 【臨時財政対策債とは？】

国から地方自治体に交付する地方交付税の原資が足りないため、不足分の一部を地方自治体が借り入れする地方債のこと。臨時財政対策債の元利償還金相当額は、その全額を後年度の普通交付税によって措置することとされている。



## 令和4年第1回定例市会日程

月 日	曜	時刻	区 分	摘 要
2/10	木			招集告示

## 【2月議会】

2/17	木	午前10時	本 会 議 (開会)	・ 一般議案……説明→(質疑)→付託 ・ 当初予算……説明のみ
18	金		} 常任委員会	当初予算質疑通告期限
19	土			
20	日			
21	月			
22	火			
23	水			
24	木	午前10時	本 会 議	・ 一般議案……議決 ・ 当初予算……質疑
25	金	午前10時	本 会 議	・ 当初予算……質疑→予算特別委員会設置→付託
26	土	}	} 予算特別委員会	局別審査  総括質疑 意見表明、意見決定
27	日			
28	月			
3/1	火			
2	水			
3	木			
4	金			
5	土			
6	日			
7	月			
8	火			
9	水			
10	木			
11	金			
12	土			
13	日			
14	月			
15	火			
16	水			
17	木			
18	金	午前10時	本 会 議	・ 追加議案……説明→(質疑)→付託
19	土	}	} 常任委員会	一般質問通告期限
20	日			
21	月			
22	火			
23	水			
24	木			
25	金			
26	土			
27	日			
28	月	午前10時	本 会 議	・ 当初予算、追加議案……議決
29	火	午前10時	本 会 議	・ 一般質問
30	水			
31	木	午後	本 会 議 (予備)	

## 【6月議会】(予定)

6/13	月	午後2時	本 会 議	・ 正副議長選挙
14	火			
15	水			
16	木			
17	金	午前10時	本 会 議	・ 議案……説明→(質疑)→付託
18	土	}	} 常任委員会	一般質問通告期限
19	日			
20	月			
21	火			
22	水			
23	木			
24	金	午前10時	本 会 議	・ 議案……議決 ・ 諸役選任
25	土			
26	日			
27	月	午前10時	本 会 議	・ 一般質問
28	火	午前10時	本 会 議 (閉会)	・ 一般質問

(4)

## 予 算 特 別 委 員 会 審 査 日 程 ( 案 )

月 日	曜	摘 要	
2. 24	木	本会議	
25	金	本会議終了後 (議場) 予算特別委員会—正副委員長の互選, 理事の選出, 委員会の運営方法の協議, 分科会の審査日程の協議	
26	土		
27	日		
28	月	10:00 第1分科会 (会計室, 市長室・行財政局, 選挙管理委員会・人事委員会・監査委員) 10:00 第2分科会 (危機管理室・消防局)	第4委員会室 【15:10】 第2委員会室 【10:10】
3. 1	火	10:00 第1分科会 (企画調整局) 【13:45】 10:00 第3分科会 (こども家庭局) 【10:40】	第4委員会室 第2委員会室
2	水	10:00 第2分科会 (健康局) 【15:10】 10:00 第3分科会 (港湾局) 【10:10】	第4委員会室 第2委員会室
3	木	10:00 第1分科会 (建築住宅局) 【13:00】 10:00 第2分科会 (環境局) 【13:45】	第2委員会室 第4委員会室
4	金	10:00 第1分科会 (交通局) 【11:20】 10:00 第3分科会 (教育委員会) 【15:10】	第2委員会室 第4委員会室
5	土		
6	日		
7	月	10:00 第2分科会 (建設局) 【13:00】 10:00 第3分科会 (経済観光局) 【13:45】	第2委員会室 第4委員会室
8	火	10:00 第1分科会 (都市局) 【10:40】 10:00 第2分科会 (福祉局) 【11:20】	第4委員会室 第2委員会室
9	水	10:00 第2分科会 (水道局) 【10:40】 10:00 第3分科会 (文化スポーツ局) 【13:00】	第2委員会室 第4委員会室
10	木		
11	金		
12	土		
13	日		
14	月	10:00 委員会 総括質疑	議 場
15	火		
16	水	11:00 委員会 意見表明	議 場
		14:00 委員会 意見決定	議 場

【 】の時間は、つなぐ議員の予定質疑時間です。休憩時間の取り方によっては、前後する可能性がありますので、傍聴の際はご注意ください。

# つなぐ議員団街頭市政報告会 今年も毎月開催します

市民に開かれた議会、願いが実現する市政をめざし、つなぐ議員団は今年もより多くのみなさんのお声を聞くため、毎月街頭市政報告会を開催し、市民のみなさんの声を市政に生かしていきます。

今年はまだ1月28日(金)に三宮センター街東口、2月20日(日)に元町駅東口で2回の報告会を開催しました。今年から横断幕も目立つように大きくしました。コロナ禍で寒い中でしたが、多くの皆さんにご参加頂き、貴重な意見をいただきました。(写真は1月の報告会)



## 王子公園再整備基本方針(素案)に1,500件を超える意見募集

### 市民グループが素案の白紙撤回を求める署名をスタート

昨年神戸市が発表した 王子公園再整備基本方針(素案)に対し、今年1月17日まで意見募集(パブリックコメント)が行われてきましたが、1,500件を超える意見が寄せられました。1,500件というのは意見募集としては異例の多さで市民の関心の高さが伺えます。神戸市は意見募集を終えて、『神戸市民以外の方からも多数のご意見を頂いております。「わたしから神戸市への提案」にいただいたご意見も含め、神戸市民以外の方からのご意見に対しても、市の考え方をまとめて2月下旬頃にHPに掲載させていただく予定』としています。

この基本方針(素案)に対しては、多くの市民から疑問の声が広がっています。1月16日には市民グループが「王子公園の未来を描く 市民ミーティング」を開催し、会場には200人を超える参加者があり、「市民が知らないまま計画づくりが進められている。計画づくりの進め方がおかしい」「遊園地をなくさないで」「少子化の中、大学はいらない」「動物園や遊園地の利用者数の推移など公表せずに計画をつくるのはおかしい」「スマスイのようにならないか心配」などすべての意見が素案への疑問と市の進め方への憤りでした。

不十分な素案、1回だけの説明会、短期間の意見募集だけで進められている「基本方

針(素案)」は一旦白紙に戻し、基本計画づくりは「みんなで議論し、みんなで決める」市民参画の下で進めるべきです。

市民グループが署名をはじめました。署名用紙は議員団事務局にありますので、署名にご協力いただける場合、議員団事務局まで連絡していただければ幸いです。

**王子公園再整備基本方針(素案)の  
白紙撤回を求める署名**

神戸市長 久元義徳 様 2022年 月

◆ 神戸市が発案した「王子公園再整備基本方針(素案)」に対して、私たちは1月16日「王子公園の未来を描く市民ミーティング」を開催し、多くの市民が疑問・意見を申し出し、市民にとって王子公園がいかに大切な場所であるか、あらためて確認しました。

◆ 遊園地は神戸市民はもとより、関西一円の子育て世代、子どもたちにとって大切な憩いの場所です。サブグラウンドや高齢者のラジオリレーや数回に利用され、近隣の小学校・中学校のクラブ活動の場にもなっています。市民プールや体育館も安価で利用できる貴重な施設です。

◆ 大学誘致を基本とする今回の計画は、こうした市民の思いが反映されておらず、この地域の未来に求められている姿が描かれているとは思えません。

◆ すでに1000件を超えるパブリックコメントで意見が寄せられていますが、王子動物園の現状や「なぜ大学誘致なのか」の根拠が示されておらず、今後、市民の声を反映する機会も保障されていません。このような状況では未来に託れる王子公園は残せません。

**署名用紙に記入する際の注意(※)**

① 不十分な素案、1日だけの説明会、短期間の意見募集で進められている「王子公園再整備基本方針(素案)」を白紙にしてください

② 王子公園・王子動物園は市民の財産です。基本計画作成は、市民参画で進めてください

お名前	ご住所

※ ご記入していないお名前情報は、この署名の用途のみに利用させていただきます。

【よびかけ団体】  
「王子公園・市民ミーティング」実行委員会  
●連絡先・事務局  
〒857-0831 神戸市東灘区水通5-5-10  
こらべ保育園サービス受付  
TEL 078-200-6361 FAX 078-200-6351 Eメール kanemaru@kobe-mcoop.or.jp  
●ご記入いただいた署名用紙は、事務局にお届けいただくにご協力いただけます。



## 本会議代表質疑に登壇! させていただきました

1兆8,000億円もある神戸市の予算案を審議する重要な議会の本会議代表質疑に議員3年目にして初めて登壇させていただきました。年明けから2カ月間、この日の50分の質疑のために勉強を重ねて、頭の中には情報がパンパンな状態。あれもこれも聞きたいという気持ちが強すぎて、時間が足りませんでした。反省点の多い、ほろ苦いデビュー戦となりました。



本会議(令和4年度予算質疑) 2022.2.25

議会の様子はこちら! → YouTube



王子公園再整備の

## 「政策決定過程について明らかにして欲しい」と質疑

### 王子公園再整備について

神戸市が計画した再整備案に多くの反対意見が寄せられました。その数なんと**1456通、5632件!** 今回の案ではテニスコート、プール、サブグラウンドは現在の利用状況を数字で示すことなく、一方的に廃止。そして、明確な理由もなく大学誘致。

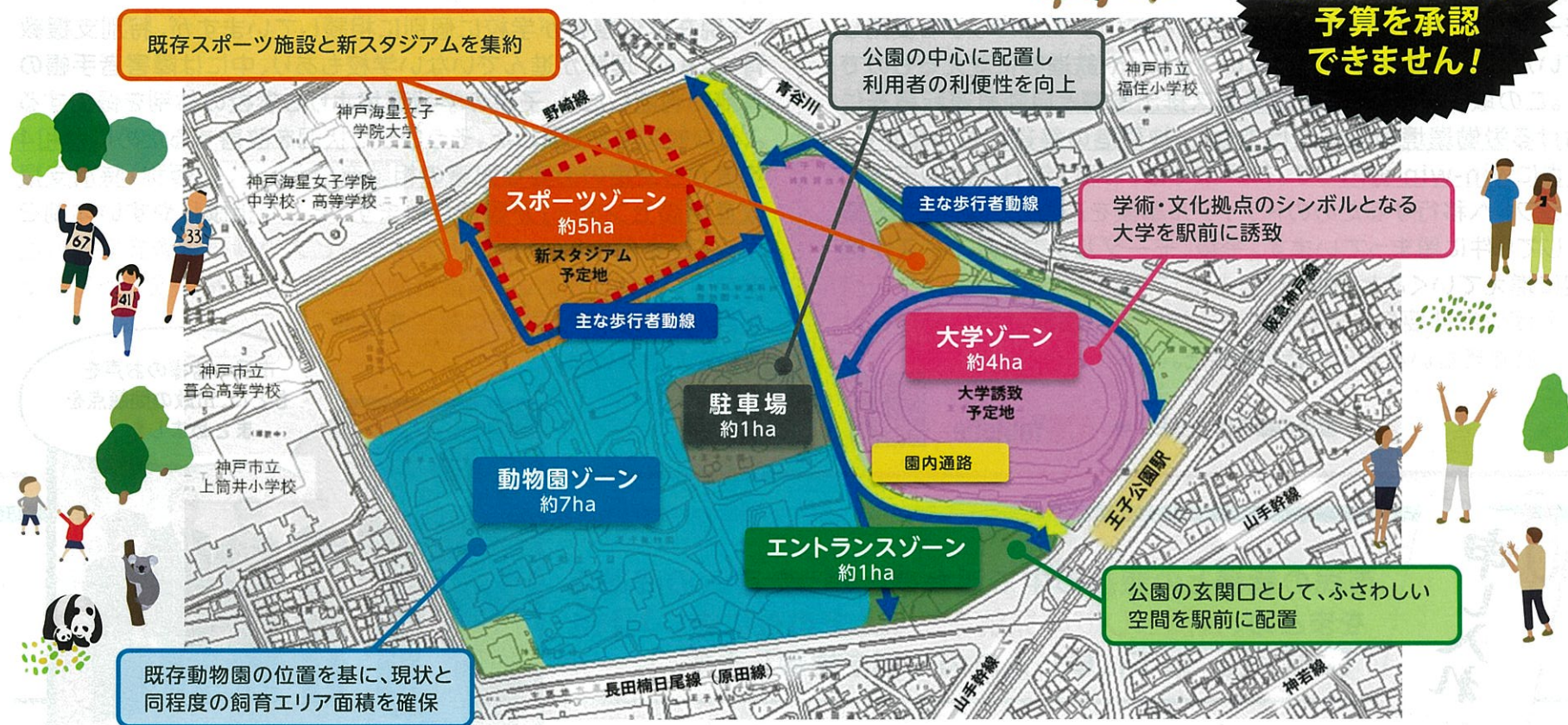
ここで気になるのが、老朽化した施設を廃止することで生まれた土地の活用として様々な選択肢の中から大学誘致という結論に至ったのか、大学を誘致する土地を確保するために施設を廃止することに至ったのか。大学誘致という結果は同じでも政策決定過程はまったく違います。今回の政策決定過程について明らかにして欲しいと質疑をしました。当局か

らは、老朽化した施設の更新とともに、将来を見据えて必要な機能ということで大学誘致を決めたとの答弁でした。そうであれば**大学誘致以外には、どのような選択肢があったのか教えて欲しいと再質疑**をしましたが、「大学以外の議論というものも、今ちょっと覚えておりませんが、あったかもしれません」というようなあやふやな答弁。

神戸市には20以上の大学があり、7万人の学生がいます。どちらも政令指定都市の中では上位に位置します。私は、王子公園再整備に関して全面的に反対する立場ではありませんが、学生の全体数が減少し、大学経営が厳しい中、**新たな大学を誘致する納得できる説明がなければ予算を承認することはできません**と結びました。

**納得できる説明がなければ予算を承認できません!**

【王子公園再整備基本方針(ゾーニング)】※神戸市 2021.12



### 生徒のニーズに応じた学校運営について

会派で視察した桃山台中学校の「習熟度別授業」や「校内フリースクール」が生徒や保護者にも好評でしたので、**他校にも拡大するべきではないかと質疑**をしました。教育委員会からは、「習熟度別授業」については、**今後好事例を全校に発信**するとともに、**学校現場とも意見交換**をしながら、より良い方法について模索をしていきたいと答弁をいただきました。さらに、「校内フリースクール」については、ほとんどの中学校で、教室に入りたくても入れない生徒を対象とし、**別教室を利用し個々の学習状況等に応じた指導や生活指導などの取組**を行っているとの答弁でした。

### 精神疾患を抱える方に対する生活支援について

精神疾患患者に対する支援については、従来入院による治療が主であったものが、**地域での生活支援にシフト**しています。しかし、**住居の確保が困難**なため、**退院できない方が多くおられます**。行政として**住居確保の支援はできませんかと質疑**しました。当局からは、精神障害への理解不足等から、**住宅確保にはまだ課題も多くあります**。神戸市、不動産団体、福祉団体などで構成する**神戸市居住支援協議会**では**住宅セーフティネット制度に基づき、居住支援法人と連携した支援**に取り組んでいますとの答弁でした。当事者の方がおられましたら**神戸市居住支援協議会**にお問い合わせください。





1月 2022年1月28日(金)12:00~13:00 三宮センター街 入口にて

2月 2022年2月20日(日)11:30~12:30 JR元町駅 東口にて



つなぐ  
神戸市議員団の

# 街頭市政報告会を実施しました



令和4年から、毎月、市内各所で街頭市政報告会を実施しています。私からは、1月は王子公園再整備について、2月は重度障害者等就労特別支援事業について報告させていただきました。通行している方が立ち止まって聞いてくれて、厳しい質問や前向きな意見をいただきました。市役所のような閉鎖的なところでの形式的なやりとりとは違い、開放的な場所での本物の熱い議論が展開されます。自分の実力が試せる良い修行になります。



詳しくは つなぐ神戸市議員団のホームページをご覧ください

つなぐ神戸

当日の様子はこちら! →

YouTube



令和4年度

## 予算特別委員会にて質疑いたしました!

### 港湾局

2022.3.2

働き方改革によってトラックドライバーの時間外労働時間が規制される(年間960時間)、いわゆる「2024年問題」による人材不足を解消する取り組みとしてモーダルシフトの取り組みが注目されています。トラックを使用していた物流を環境負荷の少ないフェリーや鉄道等に変えるものです。この取り組みは、温室効果ガス排出削減と自動車運転業務における労働環境の改善だけでなく、神戸港の集荷にもつながり、まさにwin-win-winです。神戸市では、令和3年10月よりモーダルシフトへ移行するためのトライアル事業を進めていますが、実績として9件に留まっています。今後、モーダルシフトのニーズが確実に増えていくことから、補助上限(1事業あたり300万円)の引き上げや補助要件を緩和してでも神戸港の集荷拡大に結び付けていただきたいと要望いたしました。



### 教育委員会

2022.3.4

支援を必要とする児童が就学して小学校に入学する際に、特別支援学校や支援学級、通常の学級など、どの進路を選択するか悩まれる保護者が多くおられます。現在は保護者が学校に個別に相談していますが、特別支援教育について理解が進んでいない学校もあり、中には障害者手帳の有無で判断したり、子供の学習環境よりも学校の体制を優先するような対応もありました。そういった状況を改善するために令和4年度から支援の必要な児童の相談窓口として、「(仮称)特別支援教育相談センター」が設置されます。そこで相談しやすい体制を作っていただきたい、放課後デイサービスや通級指導教室との連携をしていただきたい、保護者同士が繋がる機会を作っていただきたいなどの具体的な要望をさせていただきました。



議会の様子はこちら! → YouTube



市民の皆様のお声をもとに、市政の問題点をまとめました!

申し入れ

市民の皆様との懇談の中で浮かび上がった市政の問題点をまとめ、会派としての見解を踏まえて市長に申し入れをしました。以下に申し入れの一部を掲載します。



- 1 重度心身障害児や医療的ケアの必要な児童が利用できる福祉施設を拡充すること。
- 2 アルコール・薬物・ギャンブルなどの依存症対策を拡充すること。
- 3 フリースクールとその利用者に対する公的支援を行うこと。
- 4 学校給食の食材については、有機農業産品を可能な限り追求し、残留農薬検査を拡充すること。
- 5 ジェンダー施策やLGBTなど性的少数者の支援策を企画立案する部局を設置し、パートナーシップ制度を早急に導入すること。

ご連絡先

つなぐ神戸市議員団 香川 真二

Tel.078-322-5849 Fax.078-322-6167